

臨床研究に関する情報公開

渋川医療センターでは、下記の臨床研究の情報を公開しております。

研究の計画・方法についてお知りになりたい場合、研究への情報利用についてご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、各研究の研究責任者または、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 「標準治療の継続が困難であった肺 *Mycobacterium avium* complex 症の検討」

[研究責任者] 渡邊 覚

[研究の背景]

肺 *Mycobacterium avium* complex 症(肺 MAC 症)の標準治療として、マクロライド系薬・リファマイシン系薬・エタンブトールの3剤併用療法が推奨されています。しかし、約70%の症例で有害事象が出現し、30-70%の症例で少なくとも1剤以上の薬剤が継続困難であったと報告されており、治療が中断となるケースも少なくありません。治療中断のリスク因子を明らかにすることで、治療の適応やタイミングを適正化するための一助となると考えられます。

[研究の目的]

標準治療の継続が困難であった症例と継続可能であった症例とを比較し、治療中断のリスク因子を解析します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2016年1月から2020年12月の期間に、クラリスロマイシン・リファンピシン・エタンブトールの3剤併用療法が導入された肺 MAC 症の患者さん。

●研究期間

2021年11月から2022年3月の期間を予定しています。

●利用する情報

診療録に記載されている年齢、体重、性別や血液検査データを用いた研究です。
本研究に於いて研究対象者への負担並びに予測されるリスクはありません。

[研究組織]

独立行政法人国立病院機構渋川医療センター 呼吸器内科

[個人情報の取扱い]

本研究にかかわる関係者は、研究対象者に個人情報について適応される法令、条例を遵守します。また、関係者は、研究対象者の個人情報及びプライバシー保護に最大限の注意を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を適切な理由なく漏らしません。関係者がその職を辞した後も同様とします。研究責任者が本研究で得られた情報を公開する際には、研究対象者が特定できないよう十分配慮いたします。本研究へ登録されたくない、または取りやめたいと思われた場合は、ご遠慮なく担当医にご連絡ください。

[利益相反]

本研究において、開示すべき利益相反はございません。

【問合せ・苦情等の相談窓口(連絡先)】

独立行政法人国立病院機構渋川医療センター
〒377-0280

群馬県渋川市白井383

電話:0279-23-1010(代表)

FAX:0279-23-1011

部署:呼吸器内科

職名・氏名:医師 伊藤 優志

職名・氏名:統括診療部長 渡邊 覚